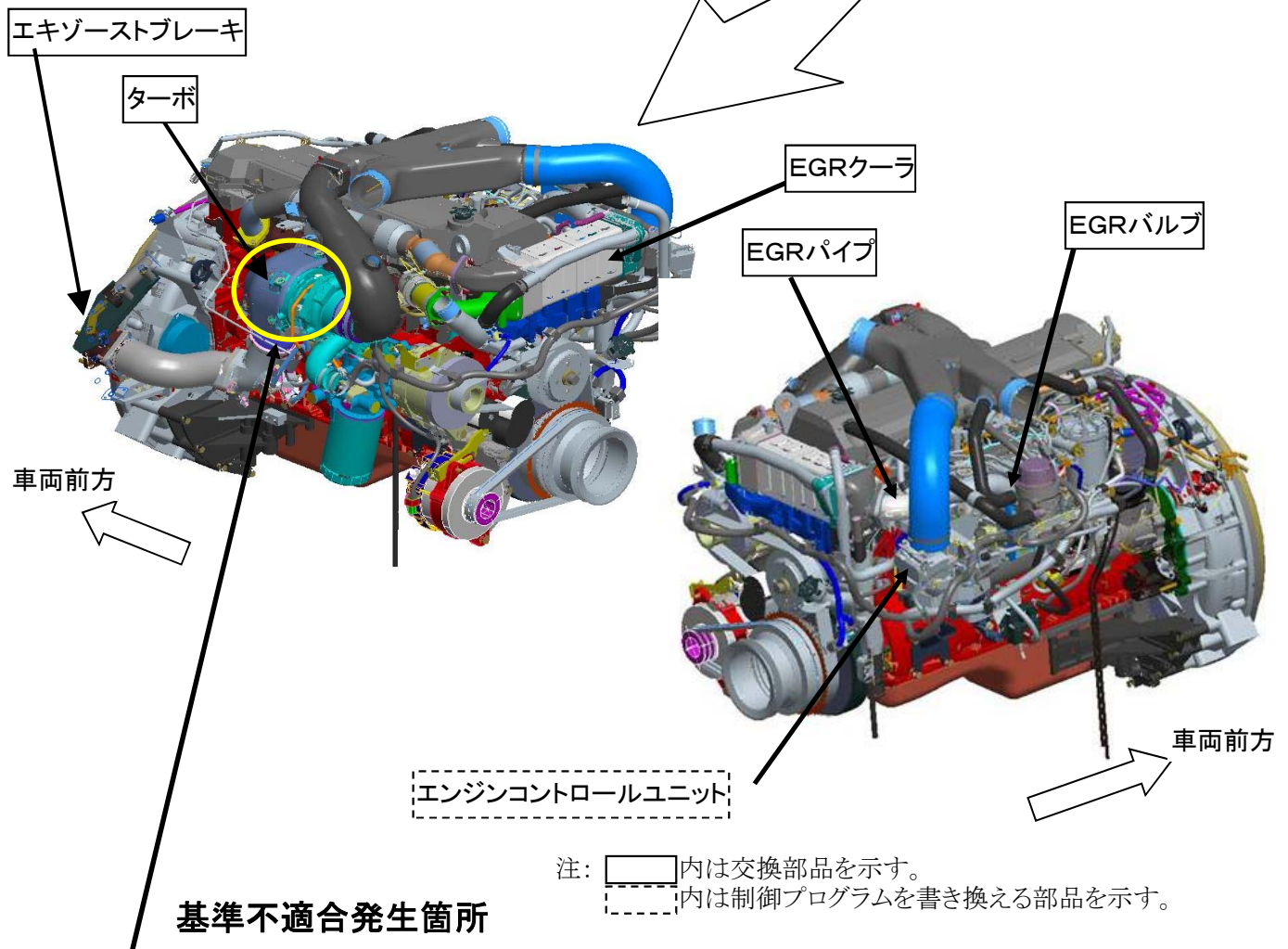


改善箇所説明図



注: 内は交換部品を示す。
 内は制御プログラムを書き換える部品を示す。

基準不適合発生箇所

大型路線バスにおいて、エンジンの制御プログラムが不適切なため、停車中のDPR(排出ガス浄化装置)の自動再生時のポスト噴射による燃料がEGR回路に回り込み、排気ガス再循環(EGR)クーラで冷却され、カーボンデポジットが生成、堆積することでEGRクーラが閉塞するものがある。そのため、そのまま使用を続けると、ターボのタービン翼が欠損し、エンジンチェックランプが点灯するとともに出力不足になり、円滑な走行が出来なくなるおそれがある。

改善の内容

全車両、エンジンの制御プログラムを書き換えるとともに、エキゾーストブレーキを対策品に交換、EGRクーラ、EGRバルブ、ターボ、EGRパイプを新品に交換する。

識別 : 改善済車両にはネームプレートに黄色ペイントを塗布する。